野洲市が新病院整備その可能性は？

市民懇談会を開催します！

○6月1日㈮午後7時30分～／市役所本館3階第1委員会室
○6月3日㈰午前10時～／コミセンなかさと大ホール

市では、昨年に市民の代表や専門家の参加のもと『野洲市地域医療における中核的医療機関のあり方』について検討委員会で議論いただき、「市内に一定の役割を担う病院は必要である」という提言を受けました。

今年2月には、新たに専門家による『野洲市新病院整備可能性検討委員会』を設置し、市が病院を整備する可能性も含めた今後の市民医療サービスのあり方を検討しています。

そこで、市民懇談会を開催し、「病院に対する市民ニーズ」や「市民負担に対する考え方」などの課題について、皆さんのご意見をお聞きします。

新病院整備可能性検討に至った経緯

H23．4　野洲病院から市に『新病院基本構想2010』が提案
→　現状のままでは、市内の医療サービスの維持・継続に不安
⇒　市が、新病院の土地建物・高額医療機器を調達し、野洲病院が使用貸借して病院運営することを提案

⇩

H23．6　中核的医療機関のあり方について検討
→　専門家や市民の代表による委員会を設置

⇩

H23．10　委員会提言「市内に一定の役割を担う病院は必要」

⇩　しかし・・・

H24．1　回答　→　野洲病院の提案の実現については、運営形態のあり方等に課題があり困難と判断

提案の回答

H24．2　市が新病院を整備する可能性について検討
→　専門家の委員7名による委員会で検討中

⇨　7月頃には検討のまとめ

◆問い合わせ
地域戦略室
☎587－6141
FAX586－2200

◆病院整備についての課題整理（第2回検討委員会）

①立地場所は？

利便性、公平性の観点

↓野洲駅周辺か？　郊外か？

◆考え方

郊外に立地した場合、野洲駅周辺と比較すると地価は安いものの、周辺道路などの新たなインフラ整備の検討が必要です。また、自家用車での通院が基本となれば、市民は市外の周辺病院を選択することが可能であり、市内に病院を整備する必要性は低くなります。

一方、野洲駅周辺に立地した場合、既存の公共交通機関が利用できるため多くの市民が利用しやすくなります。また、JRを利用する市外の患者も期待できるとともに、医療スタッフの確保にも有利であることから、経営の安定化に有効です。さらに、駅周辺施設の利用者と合わせ、まちのにぎわいに資することが期待できます。

②診療科目は？

必要性、採算性の観点

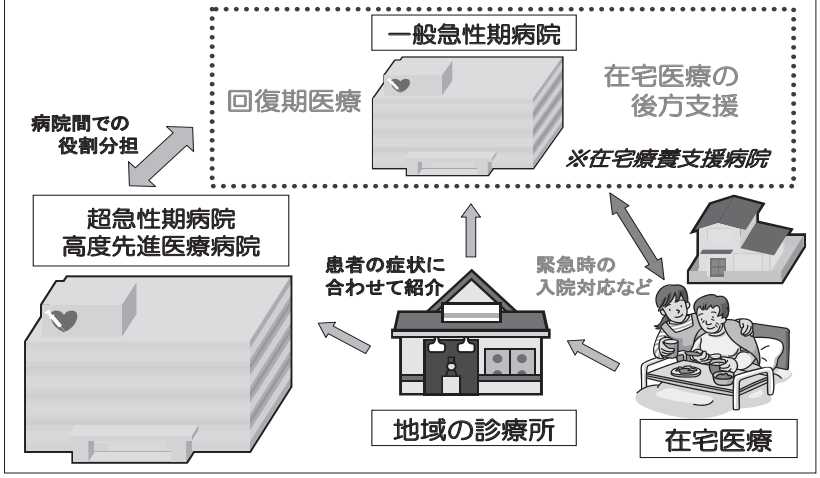
↓内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・リハビリテーション科・泌尿器科・人工透析の9診療科

◆考え方

基本的には、回復期医療と在宅医療の後方支援機能を重視しています。現在の市内診療所における受療動向などを考慮し、この地域で特色が出せる分野としては「泌尿器科」や「整形外科」に可能性があります。

また、9診療科以外では、耳鼻咽喉科の外来対応が不足しています。

新病院を整備するとした場合



◆病院整備についての課題整理（第3回検討委員会）

③運営方法は？

機動性、透明性、コストの観点

→市の直接運営か？民間委託（指定管理者制度等）か？

▽**市の直接運営**…市が施設の管理・事業運営を行います。

▽**指定管理者制度**…市が施設を整備し、管理・事業運営を民間医療法人等に委託します。

▽**その他**…市が地方独立行政法人を設置し、その法人が、市が設定した条件内で自立した施設管理、事業運営をする方法があります。

◆考え方

次の観点で評価が必要です。

・意思決定の迅速性
・市部局との人事交流の有無
・給与や勤務条件の柔軟な設定
・契約や物品購入の手続き
・経営責任と職員の経営意識
など

医療現場の現状を踏まえた検討が必要です。

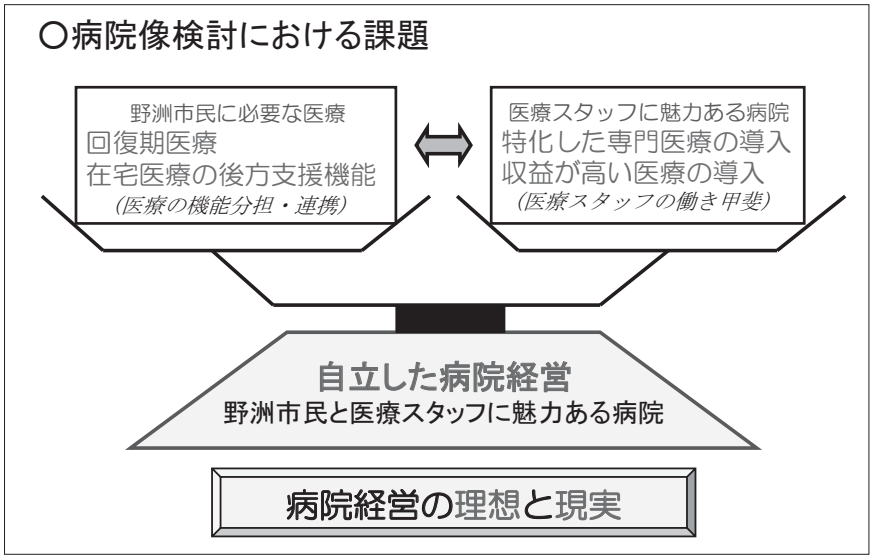
④病院運営への市税投入は？

限られた財源の有効利用、市民サービスの優先度の観点

市が病院を整備するとした場合、財源が限られているため、市民サービスの優先度を評価する必要があります。そのため、他の公共サービスを考慮しながら、病院整備の実現性と持続性を判断する必要があります。

◆考え方

事務局が提案した当初の一般的なシミュレーションでは、病院事業損益は、開院20年後も赤字経営（市が直接運営した場合）になります。そのため、少なくとも開院10年目に黒字運営できる方法の検証が必要です。



○収益の増加

・特色ある診療科を設置することや野洲駅周辺に病院を整備することによる便利さにおいて、他の病院との差別化を図り収益の向上につなげる。

○費用の削減

・医療サービスに影響のない範囲での施設整備費用と医療機器の初期整備費用の抑制により、減価償却費や元利償還金、一般財源繰入金の抑制を図る。

・医師や看護師などの職員数について、病院の機能と設備に合わせた配置とすることで人件費を見直す。

☆病院整備Q&A ～これまでの議論から～

Q 野洲市が新病院建設することは決まっているのか？

A まだ、決まっていない。野洲病院にかわる病院を市が整備できる可能性を検討している。

Q 新病院を整備する場合に、なぜ市立病院が前提となるのか？また、野洲病院を支援して新病院を整備できないか？

A 野洲病院からは昨年4月に新病院構想が出された。市が新しく土地、建物、設備を整備して、野洲病院が運営すれば、市民の医療を守れるというものであった。市民と専門家の委員会で検討してもらったが、実現性は困難であるとの結果であったため、今回の検討を行っている。

Q 野洲病院の業務を引き継ぐ他の民間病院を誘致して、医療サービスを確保できないか？

A 誘致に応じる病院が、野洲病院の資産および債権債務を引き継ぐことになるので、実現性は低い。

他の公共施設による行政サービス（大規模施設整備状況）

◆主な着手事業…課題になっていた施設の新設・改修

○クリーンセンター建て替え　○子ども園建設
○防災拠点整備・消防署建設
○小中学校耐震化・空調設置
○野洲駅南口整備

◆主な既存施設…維持管理・運営経費が必要

○コミュニティセンター7か所　○ホール2か所
○博物館1か所　○プール2か所
○体育館4か所　○図書館2か所　など

第4回検討委員会

日時…6月12日㈫午後2時～
会場…市役所本館3階第1委員会室
内容…経営シミュレーションについて